

# 植物保護保湿剤 グリンナー のご案内



## ◆製品の規格：

名称= グリンナー

分類= 植物保護保湿剤（農薬ではありません）

種類= ワックスコーティング濃縮液

剤型= 緑色水和性粘稠懸濁液体

成分= ワックス 10.0%、乳化剤・色素・水等 90.0%

◆使用目的： グリンナーは昭和 32 年発明特許取得以後あらゆる植物に使用されておりましたが、樹木・茶・水稻・きやべつ・なす・きうり等に対する比類なき蒸散抑制作用を評価され昭和 50 年に農薬登録いたしました。然しながら我が国の諸環境の大きな変化により平成 23 年予定の農薬登録更新を行わず登録廃止いたしました。今後は使用範囲・使用方法の規制はなくなりますが、農業用資材としての法令を遵守し、安全に留意され、使用者責任においてご使用願います。

## ◆グリンナーの特徴：

◎農薬登録第 1 3 4 4 5 号で登録した原材料、製法により製造しております。

◎極めて安全な原材料を使用しています。

◎展着性、柔軟性、伸長性、透明性など、非常に優れています。

雨、砂塵、風、乾燥、寒気、様々な傷から植物体を優しく強力にガードします。

◎形成された皮膜は、手でこすっても、降雨でも剥落しません。

◎光合成に必要な光の透過を妨げず、植物体の維持に必要な呼吸も妨げません。

◎水で希釈して撒布し、1～2 時間放置するだけでグリンナー皮膜が完成します。

◆製品の種類： 20ℓ 10ℓ タフテナー詰（パイプ式注ぎ口付属）  
2ℓ 1ℓ スタンド袋詰（ネジキャップ付属）



1ℓ 2ℓ  
スタンド袋詰

10ℓ タフテナー詰

20ℓ タフテナー詰

タフテナーの内容器は自立性があり、外箱なしで使用できます。  
10ℓには短スルが、20ℓには長い蛇腹スルが、それぞれ付属します。  
使用済容器は切り刻んで廃棄できます。焼却してもダイオキシンは発生しません。

◆製品の保証： 「効力有効期間」は、製品ラベルに明記した「製造年月」から、適正環境下で2年間以上ありますが、万が一期限内に「品質異常あり」と思われた場合には、たとえ一部使用済みであっても交換・返品させていただきます。

## <グリーンナー液が乾燥した後に形成される被膜の特性について>

※グリーンナーは、本来水に溶けないワックス 10%と水 90%とを、特殊製法と乳化剤を用いてミクロの細かいさまで分散して、混ぜ合わせただけの物ですから、

- ◆一旦凍結し、または有効期間を経過した製品は、成分が集合・沈殿し、効力を失ってしまいます。
- ◆適正環境下で保管された場合の「有効期間」は、製品ラベルに明記した「**造製年月**」から2年間以上あります。万が一期限内に「品質異常あり」と思われた場合には、一部使用済みであっても交換・返品させていただきます。

※グリーンナー被膜は、0.002～0.05 マイクロメートル (=千分の一ミリメートル) の微細な間隙(孔)が無数にちりばめられた状態にありますから、

- ◆希釈倍数が大きくなると、この微細な間隙(穴)も大きくなり、その結果としてガスや水蒸気の通過量が増大します。例えば、5倍希釈で30%、10倍で40%、20倍で50%程度になります。
- ◆この微細な間隙(孔)が埋まってしまうので、1週間以内の二度塗りは、行なわない。

※グリーンナー被膜が、色々な効果をもたらすのですから、

- ◆撒布前の葉面に水滴がある場合や降雨直前の撒布は、被膜が形成されなくなるので散布しない。
- ◆苗の茎葉、表裏面に十分薬液が付着するように、ていねいに噴霧すること。
- ◆撒布後1～2時間で自然乾燥するまでは、撒布面に触れない。  
また、本剤撒布直後の散水も同様に行なわない。
- ◆使用後の噴霧器及び容器類に付着したグリーンナーは、乾燥して被膜形成される前に、よく水洗する。特に噴霧器のノズルは、膠着して穴がつまることがあるので十分水洗しておくこと。

※グリーンナー被膜は、淡緑色透明で、強韌ですから、

- ◆光合成に必要な光の透過を妨げません。
- ◆雨、風、砂塵、乾燥、寒気、霜、病菌などから植物体を守ります。

※グリーンナー被膜は、伸び縮みしますから、

- ◆成長が止まっている植物の場合は、数ヶ月間効果が持続します。
- ◆硬い表皮の植物体で成長が遅い場合は、1ヶ月間以上効果が持続します。
- ◆柔らかい植物体で成長が激しい場合は、4～14日間程度効果が持続します。

### ◆撒布液の作り方

- ①容器をよく振ってから必要量を取り出す。
- ②水で所定濃度に希釈し、よく混和する。
- ③できるだけ使いきり、撒布液の貯蔵は避ける。

### ◆使用方法

- ・細かい霧の出る(120メッシュ程度)噴霧器を使用する。
- ・葉面に水滴がある場合、降雨や降雪の直前、高温時、強風時等の撒布は避ける。
- ・斑にならないように葉の表裏に、特に丁寧に噴霧する。
- ・撒布後1～2時間で完全に乾燥するまでは、撒布面に触れない。
- ・1週間以内の二度塗りは、行なわない。

### ◆使用後

- ①特に噴霧器のノズルは、膠着して穴がつまることがあるので直ちに、十分水洗しておく。
- ②概ね5～50℃の範囲の屋内で、日光や照明光を避けて、密栓して貯蔵する。

### ◆その他

- ・本剤は、毒性は低いですが眼に対して弱い刺激性があるので注意し、眼に入った場合には直ちに水洗する。
- ・対象植物以外に撒布液が付着した場合、乾燥してしまう前であれば水、石鹸、花王社製マジックリンなどで洗い落とす。

製造発売元：グリーンナー 有限会社

大阪府堺市東区日置荘原寺町 226 番地 10

電話 (072)286-3312 電書 (072)286-3331 <http://www.greenner.co.jp>